

2月府議会開会!

WTC購入は断念し 中小業者支援、医療・福祉の充実を

2・23府議会開会日

府庁前集会・デモを開催

府民要求連絡会は2月府議会開会日の23日、「2月府議会開会日府庁前集会・デモ」をおこない、180名が参加しました。

集会では、2月府議会で代表質問をおこなう予定のくち原亮・日本共産党府議が来賓あいさつ。くち原氏は、「府民の暮らし・雇用がたいへんななか、それをさらに深刻にしたのが橋下府政の2年間」だとのべ、中小企業支援や私学助成、国際児童文学館なども切り捨ててきた施策の中身を説明。一方で、阪神高速淀川左岸線やなにわ筋線、ベイエリア開発など大型開発は推進しようとしていることを解明、「知事は『府市統合』を声高に叫んでいるが、そのねらいが府民生活向上ではなく開発にあると平松大阪市長さえ批判している。大阪経済再生のためには、医療・福祉の充実で府民の暮らしをささえ、雇用と中小業者を守る」とのべ、2月府議会で府民要求実現に奮闘する決意をのべました。

続いて各分野から3名が決意表明。府高教の米山幸治書記長は、高校授業料無料化の前進と入学枠拡大について「世論と運動の大きな成果」と強調。府独自の「学力テスト」実施など競争教育激化を許さず教職員をふやす運動などに、2月府議会に向けて全力をあげるとのべました。

新婦人の上嶋ゆりこさんは、橋下府政についての街頭アンケートをおこなったことにふれ、「6割の方が『橋下知事を支持する』と答えたが、具体的に何がよくなったか聞くと、『あまりそういう実感はない』という返答」と紹介。女性に冷たい府政の実像についても知られていない現状があるが、事実を伝えると「じゃあ『支持しない』にします」と変化が生まれる、と強調。子宮頸がんワクチンへの公費助成をすすめるとりくみをはじめ、「子どもにも女性にもやさしい府政」めざして新婦人もがんばるとのべました。

大商連の三谷信雄会長は、大阪でいま中小業者の倒産や廃業が続出しているとのべ、「府民要求を犠牲にして財界のいことばかり聞く橋下知事に『財政再建』を語る資格はない」ときびしく批判。中小業者対策こそが景気対策であり、財政再建の王道だと強調、「町工場の灯を消すな」と訴えました。

集会の最後に、橋口紀塩・府民連事務局長が、2月府議会に向けた宣伝・対話、府議会傍聴などの行動をよびかけました。

集会のあと、参加者は府庁前をデモ行進。「大阪府は福祉と教



育をまもれ」「橋下知事は府民の暮らしをまもれ」と府庁に向かってコールしました(写真)。

2月府議会開会にあたっては、各分野の集会や署名提出行動などさまざまとりくみがおこなわれています。

景気回復、医療・福祉充実を 一府的団体京橋宣伝

2月府議会を前に、府民連は21日、切実な府民の声を府政に届けようと、京橋駅前街頭宣伝をおこないました。8団体41人が参加しました。

「橋下知事さん、府民の願いは景気回復、医療・福祉の充実です」と大書きしたチラシを配りながら、各労組・団体の代表がかわりがわりハンドマイクで訴えました。

大生連の江田有子事務局次長は、派遣切りなど仕事と住居が奪われる人が増えているときに、大阪府が低所得者向けの家賃減免制度を改悪し、さらに府営住宅の戸数削減を打ち出したことを告発。府営住宅の家賃減免制度撤回、大量建設をと訴えました。

福祉保育労働組合の島村書記長は、「WTCや大規模開発よりも先にやるべきことはいっぱいある」と、医療・福祉の充実を訴えました。

大阪府職労の平井賢治委員長や各支部の代表は、公的病院の役割と充実の必要性、自動車税の「市場化テスト」で府民の個人情報危機にさらされている実態を訴え、府民本位の府政への転換をよびかけました。